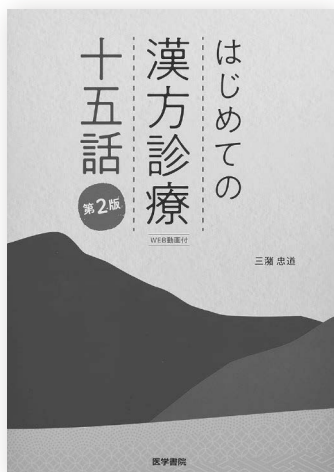


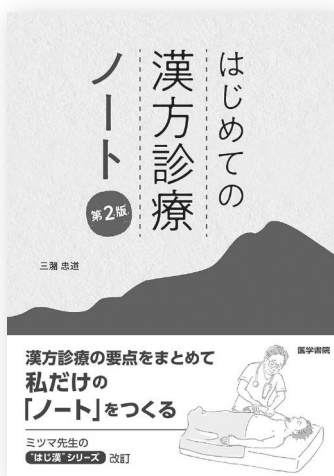


はじめての漢方診療 十五話 [WEB 動画付]

第2版

三猪 忠道=著

定価: 5,940 円 (本体 5,400 円 + 税 10%)
B5・320 頁 / 医学書院 / 2021
[ISBN 978-4-260-04750-0]



はじめての漢方診療 ノート

第2版

三猪 忠道=著

定価: 3,740 円 (本体 3,400 円 + 税 10%)
B5・160 頁 / 医学書院 / 2021
[ISBN 978-4-260-04774-6]

漢方の素晴らしい世界へ誘う指南書

評者 | 貝沼 茂三郎 富山大学附属病院 和漢診療科特命教授

私が三猪忠道先生から『はじめての漢方診療 十五話』に書かれている内容について直接講義を受けたのは 25 年前のことである。当時の資料は現在の『はじめての漢方診療ノート』に掲載されている図表の一部が印刷されたもので、三猪先生の診療が終わってから連夜直接講義を受けたことを今でも懐かしく覚えている。そして現在、私が漢方に傾倒するための基礎をしっかりと築くことができたのは、この連日の講義のおかげである。そのため、その時の講義内容が『はじめての漢方診療 十五話』という形で書籍になってから、私は自身が行う勉強会のテキストとして本書を使用し、自分 1 人で読んだ回数も含めるとこの書籍には相当な回数お世話になってきた。そこで、第 2 版ではどのように改訂されたのか、わくわくしながら拝読した。

よりわかりやすく、「独学」で内容をより深くできる改訂

通読してみても感じたのは、初版では文面になく、勉強会で三猪先生から教えていただいたことが、第 2 版では随所によりわかりやすく解説として加筆されていることだ。さらに A5 判から B5 判への大きさ変更、小見出し・キーワード・まとめがつくなどの編集構成の変更もあり、解説者がいなくても「独学」で内容をより深く理解できるようになったと感じる。また、三猪先生は漢方を広めるために西洋医学的な診断ならびに客観的な評価を重視しているが、その点が第 2 版でも反映されている。具体的には、時代の流れに合わせて、また各専門領域の医師が見ても漢方薬の有用性を客観的に評価できるよう、症例をいくつか差し替えている。この改訂もまた、これから漢方を学ぶ者にとっては、その理解を深めるために重要なことであると考えている。

『はじめての漢方診療ノート』も使って漢方医学の土台を固める

一方、陰陽から始まる漢方の基本的な考え方に対する柱の部分はまったく変更しておらず、三猪先生が故・藤平健先生や小倉重成先生から学んだ教えに対する確信とブレのなさを感じた。本書は初心者向けではあるが、三猪先生の頻用処方の中から第 2 版で追加されている方剤も多数あり、また、新しく加わった“漢方診療こぼれ話”も非常に読みごたえがあり、臨床経験が豊富な医師にとっても新たな発見ができ、きっと日常臨床に役立つ内容であると考えている。

三猪先生は「守・破・離」とよく言われる。これから漢方を学ぼうとする先生方は、本書の記載にならい、何度も繰り返し実践し修め、そして新しい発見があれば『はじめての漢方診療ノート』に加筆し、まずは自分なりの漢方医学に対する土台をしっかりと固めてほしい。本書は、読者の皆さんを漢方の素晴らしい世界へ誘う指南書であると確信する。

G